



# せんだんの木

## 病院理念

みんな仲良く  
医療で奉仕

誰にも親切  
笑顔で応対

ホームページアドレス : <http://www.makikai.jp/>



## 言語聴覚士 (ST) のご紹介

### ごあいさつ

はじめまして、言語聴覚士(ST)の本多孝敏と申します。この度、1月1日付で真木病院に入職となりました。

前職では利根沼田地区や吾妻地区で約9年の間、脳と心臓の救急病院やご自宅への訪問リハビリテーション(以下:リハビリ)をさせていただいておりました。これまでの経験を活かし、患者様・地域の為に勤めて参りますのでよろしくお願い致します。

### 言語聴覚士とは

リハビリ職には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3職種があります。言語聴覚士は他の2職種に比べ、病院や施設の在籍数が少なく、ご存知の無い方も多いと思います。

言語聴覚士は、話す・聞く・読む・書くなどの言葉に関すること、食べ物を噛む・送り込む・飲み込むな



どの食事に関することなどのリハビリ職種です。これらの問題に対し、必要な検査・評価してその方に最適なリハビリや支援を行います。また、聴力検査や補聴器の調整も行うことができます。

### 摂食 嚥下障害 とは

食えること、飲み込むことの障害のことで、うまく食べられない、飲み込めない状態をいいます。

症状としてはその方の状態によって様々です。食べるとむせる、形があるものを噛んで飲み込めない、食事に時間がかかる、食事中にガラガラ声に変わるなどで嚥下障害に気付くことがあります。また、嚥下障害により食事が上手くとれないために体重が減る、低栄養や脱水を起こす、飲み込んだものが気管にはいる(誤嚥する)、飲み込んだもので窒息する、誤嚥により肺炎を起こすこともあります。

原因も様々ですが、脳梗塞・脳出血等の脳血管疾患、パーキンソン病等の神経疾患、加齢などがあります。摂食嚥下障害の対応は、摂食嚥下リハビリ、口腔ケア、食事の調整が代表的なものです。

リハビリは口やのどのトレーニングが中心です。口腔ケアは口の中の清潔に保つことにより、味覚の改善や誤嚥性肺炎の予防になります。食事の調整は、その方に飲み込みの力に合わせた、食べ物の形にすることで誤嚥の予防になります。

安心して食べられることは、生きていく上で必要なことですが、生活の質(QOL)を向上・維持する上でとても大切なことです。まずは嚥下機能が低下しないように維持していくことが重要になると思います。ちなみに嚥下の体操のやり方はインターネットで紹介されています。

食えることや飲み込むといったことでお困りの事や、ご相談がある方はお気軽にお声掛け下さい。

# 道路交通法改正 これからの認知症のドライバーは

患者支援部長 内科・脳神経医師 堀越 悟



## 高齢ドライバーの特徴

近年、新聞やその他の報道で、高齢者の重大事故にかかわる記事が載ることが多くなってきていると感じます。年を取ると運転能力が衰え始め、運転を続けることは、現在装備できる安全装置を取り付けても、重大事故を未然に防ぎきることは出来ないのが現状です。75歳以上の運転者が起こした死亡事故のうち、事故前の「認知機能検査」で4割以上が「認知機能低下のおそれ」または「認知症のおそれ」であったことがわかっています。



そこで、警察庁、公安委員会は運転免許更新時に75歳以上の運転者全員に「認知機能検査」として、20分間の検査時間で①時間の見当識、②カードの絵の手がかり再生、③時計の描画の3種類の検査を実施し、結果が採点されます。群馬県では平成28年度中に37,500人ほどの受験者数がありました。

検査結果は3種類に分類され、第1分類（記憶力・判断力が低くなっている：「認知症のおそれ」）に成績が判定された方は、「臨時適性検査」または「主治医の診断書」の提出が義務付けられ、提出しないと免許停止となり、更には行政処分を取り消しとなります。第2分類は「認知機能低下のおそれ」、第3分類は「認知症の心配なし」、となります。検査成績でいうと、第1分類は100点満点中49点未満で、4~5%の受験者が該当すると考えられています。第2分類は49点以上76点未満の成績で、心配なしの第3分類はおおよそ60%の高齢ドライバーが該当するといわれています。

(下図参照)

## 更新時高齢者講習および臨時高齢者講習

認知機能検査を受けなくてもよい70歳以上の運転者と、75歳以上で認知機能検査が第2分類または第3分類に該当した方々は、更新時における高齢者講習を2~3時間、受講することが義務付けられます。

認知症と診断されると免許の停止または取り消しを受け、運転することができなくなります。また、運転免許の自主返納もできなくなり、自主返納ができないとその特典の利用もできなくなります。

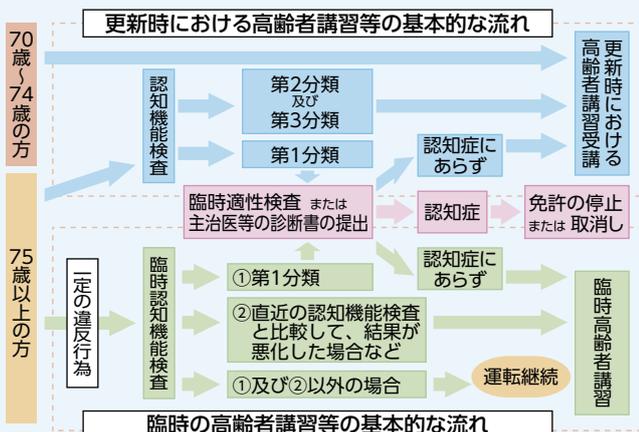
認知機能の低下により起こしやすい一定の交通違反行為(18項目)をした75歳以上の運転者には、臨時認知機能検査を受ける必要があります。この検査の結果の分類が前回の結果よりも悪かった(第1分類に近づいた)場合には、さらに臨時高齢者講習を受講することになります。この時、第1分類に判定された運転者は、認知症のおそれがある方に該当し、臨時適性検査(専門医の診断)を受けるか、認知症専門医等による診断書の提出が必要になります。これらを受けなかったり、提出しなかったりした場合は、免許の取り消しまたは停止処分になります。

## 真木病院の取り組み

免許更新時や臨時に「認知機能検査」を受けて「認知症のおそれ」第1分類に判定された運転者には認知症専門医またはかかりつけ医などの診断書の提出が、県公安委員会から義務付けられています。真木病院では、認知症サポート医の真木院長と堀越医師が予約制の診断を行っています。基本的に医療保険が適応され、**CTスキャン**、**MRI**など脳画像検査あるいは**SPECT(単光子放射型CT)脳循環代謝検査**と神経心理検査を行い、適切な診断書を作成いたします。

## 参考資料 ためしてみよう 運転チェックリスト

- センターラインを越える
- 路側帯に乗り上げる
- カーブをスムーズに曲がれない
- 車庫入れに失敗する
- 普段通らない道や悪天候(夜間)時などに迷ったり、パニックに陥る
- 話しかけると、運転に集中できなくなる
- 車間距離が短くなる
- 極端な低速走行
- 赤信号無視
- 一時停止無視
- ウィンカーの出し忘れ
- 運転中の易怒





# 「その人らしさ」 を考えた認知症ケア

2階病棟看護師  
高木 春美

こんにちは。2階病棟看護師の高木春美です。私は、昨年の6月から12月までの約7ヶ月間、認知症看護認定看護師の教育課程に行かせて頂きました。近年、高齢化に伴い認知症高齢者が増加しています。入院してくる患者様も認知症の方が多くなりました。認知症患者様は判断力・理解力の低下や記憶障害があるため、なぜ入院してきたか理解できず、点滴をする意味や安静にする意味が分からず、部屋から出てきてしまったり、点滴を自分で抜いてしまうことがあります。その予防のため、患者様の安全を考え、ベッド柵をつける・手袋（ミトン）をする・センサーマットを設置するなどの行為をやむを得ず行うことがあります。しかし、そのことはかえって認知症患者様の自尊心を損ない逆効果になっている可能性があります。「治療はしなければならない」「安静を守ってもらいたい」「治療のためには仕方がないこと」「でも患者様の気持ちを考えると、どうしたらいいのだろう」と日常の勤務で常にジレンマがあり、そのため学校に通い、認知症について学んできました。

一番重要なことは、患者様を取り巻く『環境』ということがわかりました。住み慣れた環境が変わることによって認知症患者様は不安になり、混乱するのです。私たち医療従事者も認知症患者様にとっては環境の一部です。私たちの心ある発言や接し方は患者様に安心感をもたらし、治療も円滑に行うことができると考えます。認知症であっても「その人らしさ」や「その人の役割」を見出すことができ、患者様が「ここにも安心して居られる」と思えるような環境を整えることから始めていきたいと考えています。そして「認知症の人」ではなく「認知症の**人**」という理解を周知していきたいと思っています。さらに、患者様の『笑顔』が増えるように、他職種と協力して認知症ケアチームを立ち上げ、ケアの質の向上を目指します。

認知症のことでお困りのことや、ご相談がある方はお気軽にお声がけ下さい。



## 真木川柳

皆さまからいただいた川柳を  
ご紹介します

病室の

母と過ごした 冬ありき

(ペンネーム モコモコさま)

だみ声で

採血ですよと 目が覚める

(TAKUYAさま)

患者の痛み

みなりハビリの 手が吸収

(匿名さま)

がん検診

嫌だなあったら 帰りた

(ペンネーム 中久木興業さま)

祝されて

惜しまれ巢立つ 真木の窓

(ペンネーム コッコアンドピーコさま)

この他にも、当院での入院生活の感想や日頃の出来事を綴ったものなど、沢山の方からご投稿いただきました。本当にありがとうございました。掲載させていただいた方には、当院から粗品を進呈いたします。次号もご紹介する予定ですので、引き続き沢山のご投稿お待ちしております。

# 真木病院診療案内

平成29年4月1日

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
午前9時～	内科	永尾 (代診 真木)	小浜	笠原	小浜	永尾・酒巻 堀越(10:00～)	佐野(群大)(1・3・5) 田村(群大)(2・4)
	外科 消化器外科	尾形	真木	小高	尾形	真木	群大(1・3・5) 志村(2・4) 高崎総合医療センター(3)
		齊藤		真木 予約制		齊藤	
	整形外科	篠崎	一ノ瀬(群大)	野崎(群大)	篠崎	篠崎	群大
専門外来	松井 泌尿器	須山 肝臓 予約制	高崎総合医療センター 循環器 予約制		佐藤 炎症性腸炎疾患 予約制	堀越 内科(脳・神経) (10:00～)(1・2・4・5) 真木 禁煙 予約制 和田 内視鏡 予約制 高崎総合医療センター(4) 乳腺 予約制	
午後2時～	内科	山岸	永尾		山岸	相澤	
	外科	石井(群大)	新木(群大)	齊藤	久保(群大)	尾形	
	専門外来	矢島 乳腺 予約制	和田(2・4) 内視鏡 予約制 小浜 糖尿病	飯島 呼吸器		尾形 血管外科 相澤 呼吸器内科 藤井 乳腺 予約制	

※ 午前の受付時間は11:30まで、午後の受付時間は17:00までです。

65歳以上の皆様へ

## 人間ドック「シルバー特典」のご案内

健康寿命への関心が高まっている現在、1年に1度人間ドックを受診しませんか？

65歳以上の方を対象に、人間ドックの自己負担額の値引きとオプション検査のサービス特典をご用意いたしました。高崎市の国民健康保険に加入されている方は市の助成\*と併用できます。

対象	65歳以上で高崎市国保の助成を受ける方	65歳以上で高崎市国保や健保組合等の助成を受けない方
受診期間	平成30年1月4日～2月28日	平成30年1月4日～3月31日
料金	助成利用後の料金 15,720円	通常料金 37,800円
オプション検査サービス	<p>右記の中から1つご選択いただけます</p> <p><b>BNP</b> : 心臓の元気を測定します</p> <p><b>PSA【男性のみ】</b> : 前立腺癌の疑いや前立腺肥大を調べます</p> <p><b>CA-125【女性のみ】</b> : 子宮癌、卵巣癌の疑いを調べます</p> <p><b>骨密度検査</b> : 腰椎・大腿骨の骨密度を調べます (検査は午後になります)</p>	<p>シルバー特典料金 <b>9,800円</b></p> <p>シルバー特典料金 <b>32,000円</b></p>

※高崎市国保の助成利用には平成29年12月までに申込みが必要です。

お問い合わせ・ご予約は、真木病院 ドック・健診センターまでご連絡ください。TEL: 027-363-8558

### 平成28年度 手術実績及び検査実績

外科・消化器外科の手術数	手術	胃悪性腫瘍手術		大腸悪性腫瘍手術		大腸・小腸切除術腸閉塞手術(良性)		虫垂炎手術		胆のう摘出		ヘルニア手術			肛門疾患手術	下肢静脈瘤手術
		開腹手術	鏡視下手術	開腹手術	鏡視下手術	開腹手術	鏡視下手術	開腹手術	鏡視下手術	開腹手術	鏡視下手術	食道ヘルニア	腹壁ヘルニア	尖腹ヘルニア	内痔核痔ろう	
28年累計		6例	0例	10例	4例	1例	1例	2例	4例	11例	49例	1例	2例	28例	21例	22例
整形外科の手術数	手術	骨折手術		皮下・皮膚腫瘍摘除術		軟部腫瘍摘除術		人工関節置換術(膝・股)		その他		健康管理センター受診数	マンモグラフィ検査	人間ドック(検診含む)		
		28年累計		79例	80例	56例	7例	277例		4,189人	18,082人					
内視鏡センター検査・手術数	手術	上部消化管内視鏡(胃カメラ)		下部消化管内視鏡(大腸カメラ)		EMR 内視鏡的粘膜切除術(ポリープ切除術を含む)		ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術		DBE 小腸内視鏡						
		28年累計		9,628例	1,627例	420例	184例	19例								

◎マンモグラフィ検査 乳房を挟み乳腺内に出来る腫瘍陰影(しこり)などをX線を使って撮影する検査のこと  
 ◎EMR(内視鏡的粘膜切除術) 食道・胃・大腸等の癌や腫瘍・ポリープに対する内視鏡手術のこと  
 ◎ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術) 食道・胃・大腸等の癌や腫瘍に対する先進的な内視鏡手術のこと  
 ◎DBE(小腸内視鏡) 内視鏡の先端についたバルーン(風船)を膨らませたり萎ませたりしながら尺取り虫の動きのように、小腸の深部へ進めて行う検査のこと

発行：医療法人 真木会 真木病院 真木 武志

編集：真木病院広報委員会

医療法人 真木会 真木病院



真木病院 外来棟

Tel.027-361-8411

〒370-0075 群馬県高崎市筑縄町71-1

Tel.027-370-3011(外来受付)

Tel.027-363-8558(人間ドック健康診断)